

十勝岳

1 概況

地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。

2 地震活動の状況

H 点の地震回数は 1 日あたり 0～5 回と少ない状態で推移しました。震源の多くは 62-2 火口周辺の浅いところ（海拔前後）と推定され、いずれも過去の観測で得られた震源の領域内の活動です。火山性微動は観測されませんでした。

なお、7 月下旬の機動観測で 4 点の臨時地震計を設置したことに伴い、震源決定が可能となったため、今月分から震源分布図を掲載します。

月別地震・微動回数

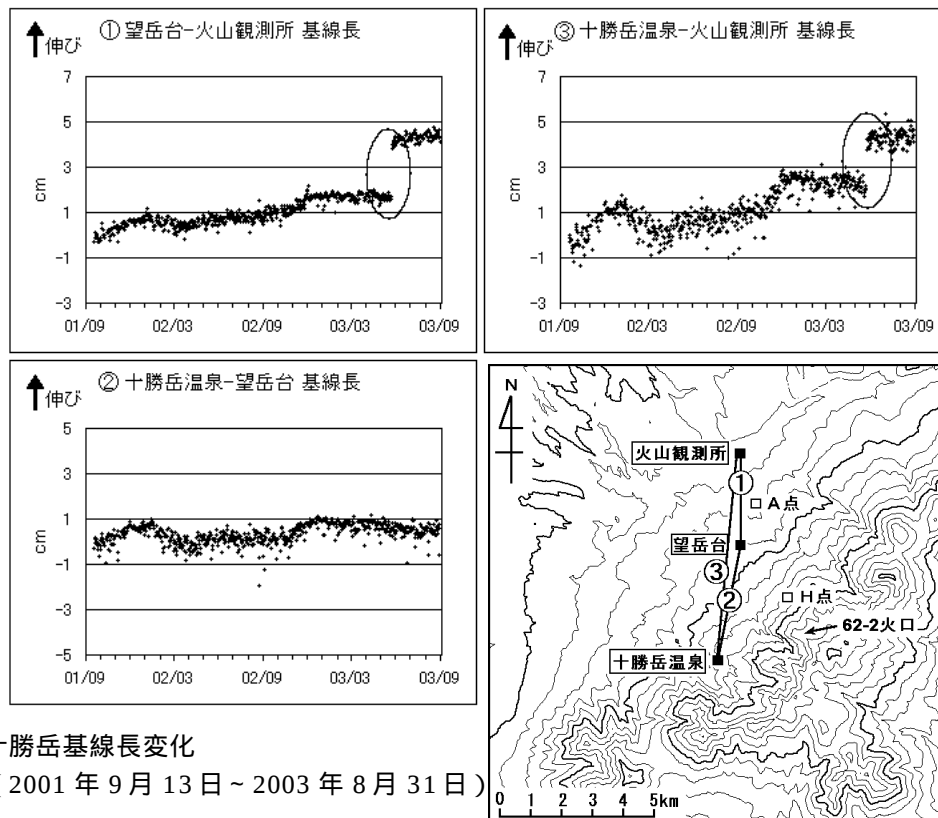
2002～2003 年	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
地震回数 H 点	113	96	47	54	93	58	39	44	60	24	35	26
地震回数 A 点	21	13	15	11	16	16	9	18	14	9	9	5
微動回数 H 点	1	0	0	0	0	2	0	1	2	2	0	0

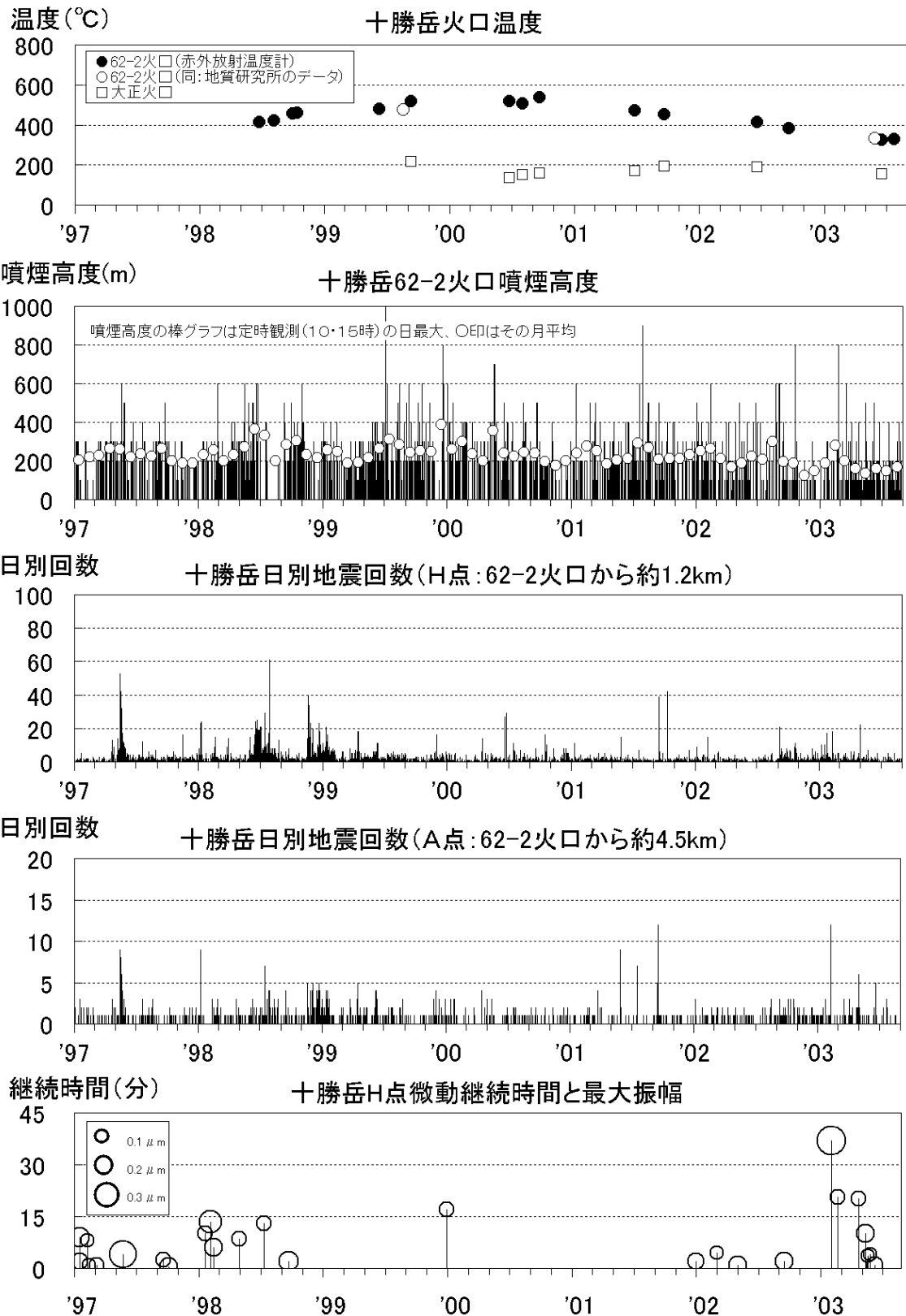
3 噴煙活動の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続き、噴煙高度は概ね火口上 200m 前後で推移しました。

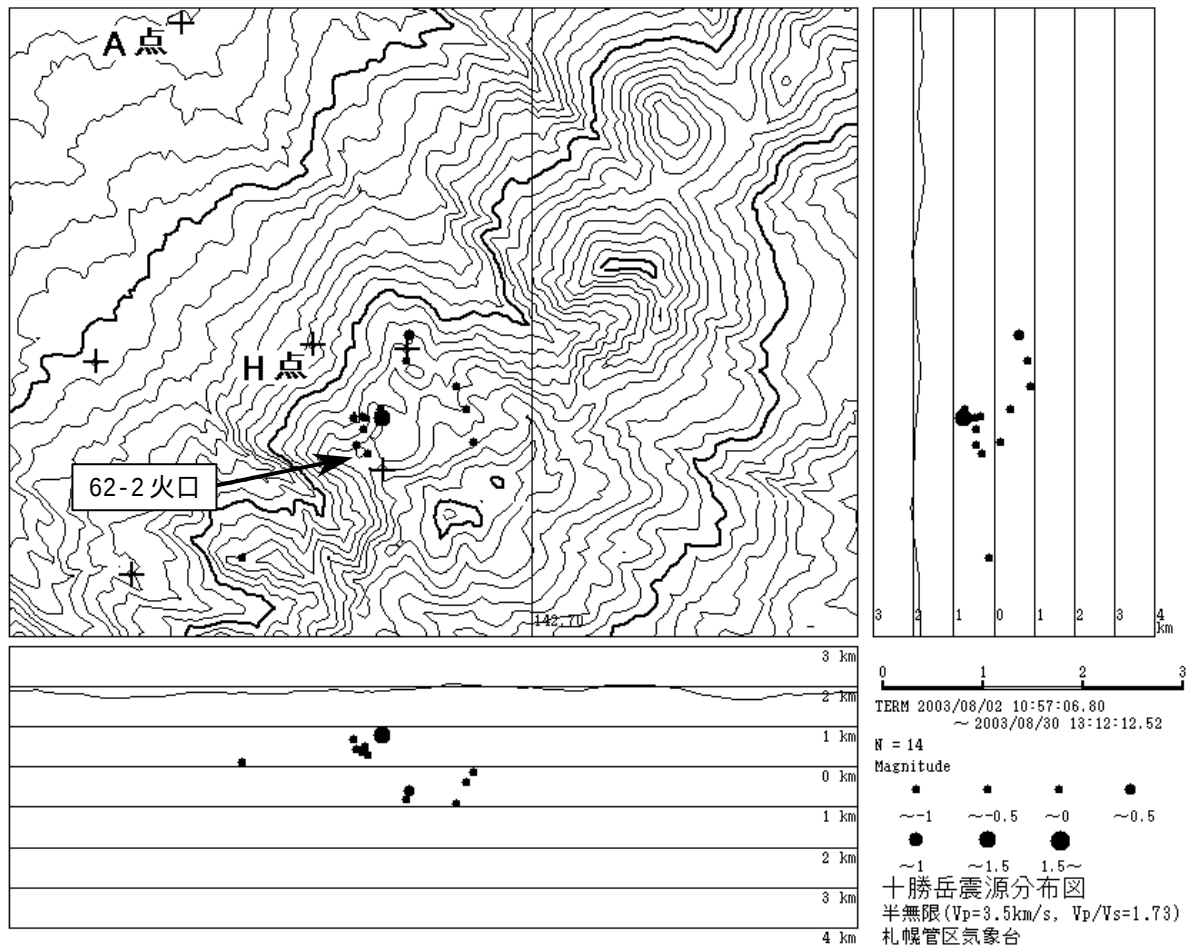
4 地殻変動の状況

G P S 観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると思われる変化はありません。 と の基線長に 5 月 24 日頃見られた不連続な変化（図中○印）は、火山観測所の G P S が地震火山以外の要因によりシフトしたと考えられます。





十勝岳火山活動経過図（1997年1月1日～2003年8月31日）



十勝岳震源分布図(2003年8月1日~8月31日)+印は地震観測点